ソフトウェア・リリース・ノート

Genelec Loudspeaker Manager GLM™

ソフトウェア・バージョン 5.0.4

GENELEC®

2024 年 3 月 19 日

ソフトウェア・リリース・ノート

GLM 5.0.4（Mac / Windows）

GLM ソフトウェアは、Genelec SAM モニター／サブウーファーのユーザーに、モニタリング・システムの優れた接続性／設定／制御を提供し、設置場所における不要な音響的影響を最小限に抑えることを可能とする強力なキャリブレーション・ツールです。GLM 5.0.4 は無償アップデートで提供され、新機能や重要なバグ・フィックス、ファームウェア・アップデートが含まれます。

このアップデートは、GLM 2、GLM 3、GLM 4 をお使いのすべてのユーザーに強くお勧めします。

本アップデートで提供されるすべての新機能とバグ・フィックスを利用するため、GLM ソフトウェアを最新版にアップデートし、GLM ソフトウェア内でアップデート可能なすべての機器に対しファームウェア・アップデートを行ってください。

システム要件

	Windows 10 – 11（64bit）	macOS 10.11 – 14.0.x Intel CPU	macOS 10.11 – 14.0.x Intel CPU
GLM アプリケーションと Cloud AutoCal 2 を使用する場合	○	○	○
Local AutoCal を使用する場合 **	○	○	×
ディスク・スペース	最低 2GB		
インターネット接続	GLM ソフトウェアのインストールおよび GLM AutoCal キャリブレーション実行中は、以下の動作にインターネット接続が必要となります。 ・ソフトウェアのダウンロード ・GLM AutoCal によるキャリブレーション ** ・Local AutoCal にパッケージを最初に使用する際のマイク・キャリブレーション・ファイルの自動取得		

* ダウンロード・リンク：my.genelec.com/（MyGenelec ユーザー・アカウントへの無料登録が必要です）
** インターネットに接続されていない環境にて GLM を使用する場合は、ダウンロード・ページより別途「Local AutoCal（バージョン 1）パッケージ」をインストールしてご利用ください。

GLM バージョン 5.0.4 の改善点

•Genelec 8381A に対応しました。
•9320A SAM™ リファレンス・コントローラーに対応しました。
•GLM ソフトウェアは最新の macOS 14 に対応します。Mac 版 GLM ソフトウェアはユニバーサル・バイナリーとして提供されます。Apple Silicon および Intel のいずれの CPU にも対応します。
•GLM は、Genelec が提供するユーザー・ポータル MyGenelec と連携しています。GLM ソフトウェア上で MyGenelec パーソナル・アカウントにログインすることで、Genelec が提供する様々なサービスを利用できます。MyGenelec にログインするには、GLM ウインドウ右上のユーザー・アイコンをクリックしてください。

GENELEC®

MyGenelec にログインすると、お使いの製品の登録、GLM セットアップの保存と読み込みを Genelec Cloud 上で簡単に行えるほか、GRADE TM ルーム・アコースティック・レポートをご覧いただけます。キャリブレーション後に GRADE リポートの作成リクエストを送信するには、メイン・ページのメニューから「サービス」>「GRADE Report Order」を選択します。GRADE レポートの作成リクエストを送信する前に、キャリブレーションが適切かご確認ください。

GRADETM ルーム・アコースティック・レポートは、GLM AutoCal 実行時に自動で収集された情報を用いて、モニタリング・システムおよびリスニング・ルームのパフォーマンスを分析した詳細な PDF 形式のドキュメントを作成するサービスです。ユーザーやスタジオ設計者が室内音響処理やモニター／リスニング・ポジションを調整したり、ベース・マネージメントを最適化する際に役立つ情報を提供します。

• 以下の新機能により SAM モニタリング・システムの電源管理機能を改善しました。

システム全体のオン / オフを切り替える「電源」ボタンが GLM ソフトウェアのメイン画面に搭載され、消費電力を節約できます。MIDI コマンドで制御することも可能です。

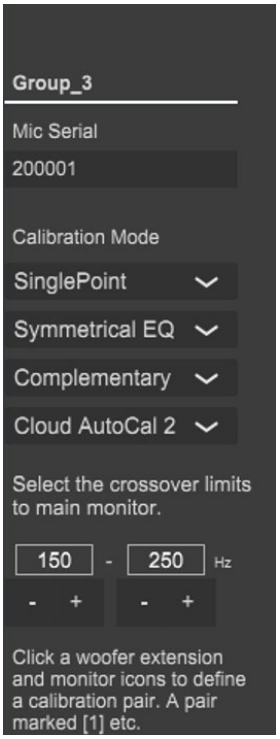
「ISS with GLM online」機能 - この機能を有効にすると、SAM システムへの入力信号レベルが監視され、設定された時間内に音声信号が入力されなかった場合、システムがシャットダウンします。ISS 機能の入力感度および時間は、「セットアップ」メニューで設定できます。「ISS with GLM Online」機能がシステムをシャットダウンした場合は、GLM メイン画面の「電源」ボタンで電源を再投入できます。

「Shut Down Group Off Monitors」機能 - 有効にすると、選択中のグループ・プリセットでアクティブなすべてのモニターがオンに、アクティブでないすべてのモニターがオフになります。大規模なマルチチャンネル・システムでステレオ・コンテンツの作業を行いたい場合などに便利な機能です。

• MIDI 機能を改善しました。機能的な変更のほか、「System Power」や「Solo/Mute Dev.」を含む新たなコマンドにも対応するようになりました。「System Power」コマンドでは、システムの電源のオン / オフを切り替えることができます。「Solo/Mute Dev.」コマンドでは、選択した SAM モニターをソロまたはミュートすることができます。「Solo/Mute Dev.」コマンドは任意の CC 番号で送信でき、0 ～ 127 の値は各 SAM 機器の「MIDI ID」に相当します。各モニターに割り当てられている「MIDI ID」は、GLM メイン画面でモニター・アイコンを右クリックしメニュー項目「Info.」を選択して表示されるポップアップに表示されます。本アップデート時点では、GLM ネットワーク・アダプターにボリューム・コントローラーを接続している場合、「MIDI ボリューム」コマンドは使用できません。「MIDI ボリューム」コマンドを使用するには、ボリューム・コントローラーを GLM ネットワーク・アダプターから取り外す必要があります。

GENELEC®

• ウーファー・システムのキャリブレーション・ページが削除されました。GLM はウーファー・システムのキャリブレーションが必要かどうかを自動的に検出し、AutoCal ページ内にウーファー・システムのキャリブレーション項目を表示します。ウーファー･システムのキャリブレーションは、測定を開始する前に AutoCal ページで設定できます。AutoCal による最初の最適化が完了すると、ウーファー・システムのキャリブレーションが自動的に開始されます。



• サブウーファー 73xx シリーズでは、LFE チャンネル・ゲインを個別に設定できます。設定は、「SAM グループ作成」ページでサブウーファーのアイコンをクリックして表示されるポップアップ画面で設定できます。この機能は、同じ LFE チャンネルを再生し、かつ異なるメイン・チャンネルに紐付けられている複数のサブウーファーの LFE レベルを補正する際に必要となります。

同じ LFE 信号を出力する（デイジーチェイン接続された）サブウーファーに対する LFE レベル補正値は、以下の表の通りです。これらの値をサブウーファーの設定に手動で入力します。

LFE 信号を再生するサブウーファーの数	補正値（dB）
1	0
2	-6
3	-9
4	-12
5	-14
6	-16

• 新搭載のファームウェア･ページでは、すべてのモニターがリストアップされ、アップデートを個別に実行できます。各モニターの現在のファームウェア・バージョンを確認する際にも役立ちます。
•GLM ネットワーク･アダプターのファームウェアがアップデートされ、起動時の出力レベルを設定できるようになり、システム電源投入時の安全性が向上しました。

GENELEC®

• 新規セットアップ作成時、GLM ネットワーク・アダプターまたは 9320 SAM リファレンス・コントローラーがモニターと共にグリッド上に配置される様になりました。これにより、モニターと同様のオペレーションでシステム機能やステータスにアクセスできます。
• 「Mute」および「Dim」機能がシステム・レベルで使用可能になりました。グループ・プリセットを切り替えた場合も、システムの Mute /Dim のステータスが優先されます。
• 現在のセットアップ名が GLM ウインドウ最上部のキャプション・エリアに表示されるようになりました。
•GLM ネットワーク・アダプター使用時に赤外線リモコンを有効 / 無効にするための「Enable RF Remote」がセットアップ・メニューに追加されました。赤外線リモコンが、隣接する GLM システムのコントロールに干渉する場合に使用します。

GLM の修正点

• マスター・レベル・フェーダーの問題を修正しました。マウス・クリックによるフェーダー値変更が廃止され、急激なレベル変化を防止できます。
• ボリューム・コントローラー、赤外線リモコン、Powermate に関する問題を修正しました。
GLM 本バージョンに含まれる新ファームウェア

GLM アダプターのファームウェア・アップデート

•GLM ネットワーク・アダプターのファームウェア・アップデートにより、システム電源投入時の安全性が向上し、常に低レベル設定で起動できるようになりました。

9301 ファームウェア・アップデート

•ISS 機能に関する問題を修正しました。

SAM モニター、サブウーファー、GLM アダプターのファームウェア・アップデート

SAM システムが最新バージョンに含まれているすべての機能に対応し、システムとキャリブレーションを最良の状態かつ最高のパフォーマンスで継続して機能させるためには、ファームウェアのアップデートが必要となります。アップデートされていない製品がシステムに含まれていると、ファームウェアのアップデートを促す注意が GLM ソフトウェアに表示されます。ファームウェアは常に最新バージョンにアップデートすることをおすすめします。以下の手順に従い、アップデートが可能であるかをご確認ください。

ファームウェア・アップデートは、GLM ソフトウェアの Info ウインドウで利用できます。アップデートの確認と実行の手順は、システム・セットアップを以前実行したことがあるかによって異なります。

ファームウェア・アップデート手順：システム・セットアップを少なくとも 1 回完了しており、現在そのシステム・セットアップがアクティブな場合

•GLM ソフトウェアのメイン画面でモニターまたはサブウーファーのアイコンを右クリックし、ポップアップ・メニューから「Info.」を選択します。
• 「Firmware Version」の情報欄にて、ファームウェアが最新か、アップデートが入手できるかを確認できます。アップデートが可能な場合は、「Firmware」ボタンを押してファームウェア・アップデート・ページを開きます（GLM ネットワーク・アダプターをアップデートする場合は、アップデート・ページは開かれず、すぐにアップデートが開始されます）。
• ファームウェア・アップデート・ページにてアップデートしたいモニターの「Update」チェックボックスを有効にし、

「Update」ボタンを押すと、アップデートが開始されます。
• すべての機器のアップデートが完了するまでお待ちください。アップデートが完了するとシステムがオンラインに復帰します。

ファームウェア・アップデート手順：初めて GLM を使用してセットアップを行うユーザーで、システムのセットアップが完了していない場合

•GLM ネットワーク・アダプターをコンピューターとモニター／サブウーファーに接続します。
•GLM ソフトウェアを起動し、システム・レイアウトを作成します。
• グループを定義します。
• セットアップを任意の名前で保存します。
•AutoCal および AutoPhase をスキップします（キャリブレーションを実行せずに「AutoCal をスキップ」、「AutoPhase をスキップ」ボタンを押してください。AutoPhase の画面は、システムレイアウトにサブウーファーが含まれている時のみ表示されます）。GLM のメイン画面が開きます。
•GLM ソフトウェアのメイン画面で各モニター、サブウーファー、ネットワーク･アダプター･アイコンを右クリックし、「Info.」を選択して情報ポップアップ・ウインドウを開きます。
•「Firmware Version」の情報欄に、利用可能なアップデートがあるか、または最新ファームウェアがすでにインストールされているかが表示されます。アップデートが可能な場合は、「Firmware」ボタンを押してファームウェア･アップデート・ページを開きます（GLM ネットワーク・アダプターをアップデートする場合は、アップデート・ページは開かれず、すぐにアップデートが開始されます）。
• ファームウェア・アップデート・ページにてアップデートしたいモニターの「Update」チェックボックスを有効にし、「Update」ボタンを押すと、アップデートが開始されます。
• すべての機器のアップデートが完了し、システムがオンラインに復帰するのを待ちます。
• メニューから「グループプリセット」>「キャリブレート」ボタンを押して表示される「グループのアコースティックキャリブレーション」画面でキャリブレーションを実行します。

長期的な互換性を提供

GLM 5 ソフトウェアは、2006 年以降に発売された Genelec SAM モニター / サブウーファーおよびウーファー・システムの全機種に対応します。Genelec が提案してきたアダプティブ・モニタリング・ソリューションは、極めて長期にわたる互換性を実現します。長い年月をかけて綿密に開発されたことで機能性が優れているのはもちろんのこと、驚くほどの安全性や拡張性、そして将来性の高さも大きな特徴です。GLM 5 ソフトウェアに互換性のある SAM モニタリング機器のリストは、以下の通りです。

SAM モニター：8240A、8250A、8260A、8320A、8330A、8340A、8350A、8331A、8341A、8351A、8351B、8361A、W371 ウーファー・システムおよび 8430A。

SAM メイン・モニター：8381A、1032C、S360A、1237A、1238A、1238AC、1238CF、1238DF、1234A、1234AC、1235A、1236A。

SE システム：8130A と SE7261A サブウーファー（SE システム）の組み合わせ。

SAM サブウーファー：SE7261A、7260A、7270A、7271A、7350A、7360A、7370A、7380A、7382A。

その他の SAM 機器：9301A AES/EBU インターフェイス、9301B AES/EBU インターフェイス、8300-416 GLM キャリブレーション･セット、9401A AoIP（Audio-over-IP）ネットワーク･システム･マネージメント･デバイス、9320A SAMTM リファレンス・コントローラー。

GENELEC®

2024 年 3 月 19 日

詳細について

GLM ソフトウェアおよび GLM オペレーティング・マニュアルは、my.genelec.com からダウンロードできます。MyGenelec へのアクセスおよび各種ファイルのダウンロードには、無料のユーザー・アカウントの作成、および個人情報の送信が必要となります。アカウントを作成することで、お客様のご要望に沿ったサービスを提供可能になります。アカウント作成後 MyGenelec にログインし、「Software」タブから「GLM」にアクセスしてください。

GLM の詳細については、www.genelec.jp/glm/ をご参照ください。

ご不明な点がございましたら、お気兼ねなく下記よりお問い合わせください。

株式会社ジェネレックジャパン カスタマー・サービス
www.genelec.jp/customer-service/

GENELEC®

株式会社ジェネレックジャパン
www.genelec.jp

Genelec Document D0211R002-1. Copyright Genelec Oy &株式会社ジェネレックジャパン 2024 年 3 月
すべてのデータは予告なく変更する場合があります。

GENELEC®